

今回は、アーティストのキアックKIACでの生活の様子を紹介します！

滞在するアーティストは、建物内にあるレジデンスルームに宿泊しながら、創作をします。



©Madoka Nishiyama

◀ こちらは、海外アーティストに人気の和室です。



©Madoka Nishiyama

使いやすいキッチンも人気です。▶
アーティストはこのキッチンで自炊をします。



10月はウクライナ・オランダ・イギリス出身のアーティストたちが、館長のふるまう和食を食べながら交流しました。海外のアーティストが出身地の料理を作ってくれることもあります。キッチンでの異文化交流も楽しい時間です。

左から、マリアさん、ニールさん、KIAC スタッフ、アイラさん。

1 ロームシアター京都「レパトリーの創造」

いちほら さとこ キュー

市原佐都子/Q

新作『キティ』レジデンス成果発表

12/12(木) 19:30 ~

○託児あり

会場／城崎国際アートセンター 料金／無料

※詳細は裏面をご覧ください



託児サービス

託児を希望される方は、電話で KIAC までお申し込みください。

保育士さんの手配の都合上、各イベント開催日の1週間前が締切です。

観る
聴く
参加する

城崎国際アートセンター（KIAC/きあつく）は、演劇やダンスなどのアーティストが滞在中に作品をつくる場所です。滞在アーティストは、市民のみなさんが無料で観たり参加したりできる「地域交流プログラム」をおこないます。

掲載イベントに関する
申込・問合せ

城崎国際アートセンター [電話受付 9 ~ 17時 / 火休]

TEL.0796-32-3888 FAX.0796-32-3898

①イベント名 ②日程 ③氏名 ④人数 ⑤電話番号をお伝えください



WEBサイトは **kiac.jp** で検索！ //

2024年度の滞在アーティスト一覧はこちらから ➡



12月前半の滞在アーティストかみくだけ

ロームシアター京都「レパトリーの創造」

市原佐都子/Q 新作『キティ』レジデンス成果発表

12月12日(木)19:30～ ※性的・暴力的な表現が含まれます

会場／城崎国際アートセンター

1

トークで話をする市原さん
イラスト
豊岡高校3年生むらかみさん



滞在期間 11月27日～12月15日

いちほら さとこ キュー

市原佐都子/Q

劇作家・演出家・小説家

城崎国際アートセンター芸術監督。

1988年大阪府生まれ福岡県育ち。

人間の生と性に関わる違和感を大胆かつ緻密に描く。

KIACで過去何度も「アートさん」として滞在制作や執筆を行い、数々の話題作を世に送り出してきた。

2019年の

『バックスの信女ーホルスタインの雌』
(第64回岸田國士戯曲賞受賞作)の
滞在制作時の滞在記はこちら

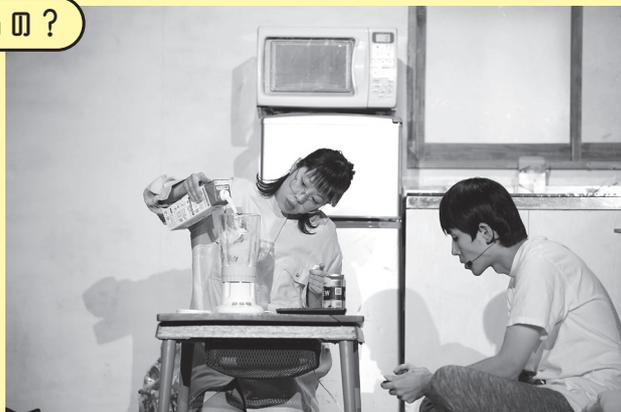


どんな人？

photo by Bea Borgers



なにをするの？



『妖精の問題 デラックス』
© 中谷利明

京都を代表する劇場・ロームシアター京都のシリーズ「レパトリーの創造」として新作に取り組みます。

家父長制や資本主義、大量生産・消費システムのひずみから生じる不条理や滑稽、そして現代の人々の欲望の均一化を、痛烈なQ（クエスチョン）に昇華して突きつける作品。

今回は、途中経過として、2025年2月のロームシアターでの初演に先駆けて、成果発表を行います。お見逃しなく！

#SMAC 芸術監督の滞在制作

#おすすめの外湯は鴻の湯

#生と性の規範を根底からくつつがえす”宇宙規模“の最新作！

年内の
予定

12月下旬 — エロワ・オルタンス・ンダ 『Le Palmier』地域交流プログラム from

12月下旬 — 早川葉南子 + 森下 瑠 『hybrid』地域交流プログラム

ル・パルミエ

コートジボワール